

学びを止めるな！！

2020年、世界は新型コロナウイルスにより、大きな打撃を受けました。

手洗いの厳行、マスクの着用、外出禁止、ステイホーム、自由経済ストップ、倒産、リストラへと世の中が大きく変わりました。

そこでITリテラシーが脚光を浴びてきます。企業はリモートに切り替え、Zoom等を使って在宅勤務へと、大きく舵を切ります。

これは学びの場でも同様です。デジタルトランスフォーメーション（DX）の波は、学びの場にも容赦なく押し寄せます。

2020年3月23日のユネスコでの会合での出来事。参加国は、イタリア、フランス等11か国。

萩生田文部科学大臣は絶句したという。

日本を除くすべての国は休校中にオンライン学習をしていたからです。日本の学校のデジタル対応は世界から20年近くも遅れているという指摘もあるそうです。

3月下旬から原則休校のオーストラリア。子ども一人に一台の端末を配備、オンライン学習により教育格差が生じないようにとしたという。マザーリングでは自粛要請期間には、いち早く、Zoomに切り替え、リモート学習へとスイッチ致しました。

これからの新たな時代を生き抜く子どもたちへの必須がこのITだと強く思っております。

そして、IB教育（国際バカロレア）を通じて、社会へ羽ばたき、この誰もが経験したことのない未知のジャングルに迷い込んだ時、自分の頭で考え行動ができる人間が重要と考えます。

そして世界のどこに行ってもめしが食える子になってほしいと切に願っております。